

子どもと健康

令和5年8月（第287号）
子どもの健康を考える会

夏本番の暑さが続く毎日です。熱中症にも気をつけて、暑い夏を健康に過ごせるようにしていきたいと思います。今回は『お薬の上手な飲ませ方』について、岐阜市学校薬剤師会 理事 小池 紫 先生より御指導をいただきました。



『お薬の上手な飲ませ方』

子ども用に使用される薬の多くは、服用しやすいように味やにおいがとてもよくなっています。そのまま上手に飲めるよというお子さんも多いのではないのでしょうか。また、少量の水に溶くだけでも上手に飲めるお子さんも多いかと思えます。

しかし、お薬は甘く加工されたものばかりではありません。苦味などでお子さんには飲みにくいお薬も多くあります。甘味のついたお薬もいつまでも口の中に含んでいたり、薬を飲む際の飲み物との飲み合わせが悪いと苦くなってしまってお薬があります。

また、お薬を飲ませる際、お薬飲ませなきゃというお母さんたちの緊張がお子さんに伝わって飲んでくれない場合もあります。飲ませる側も気構えず、上手に飲めたらいっぱいほめてあげてくださいね。

『お薬を飲ませるコツ』

* 粉薬 *

アイスクリームやプリン、ゼリーなどに混ぜてみましょう

少量のゼリーなどに混ぜると粉が口の中に残りにくく飲みやすくなります。ただし、たくさん混ぜてしまうと残ってしまう場合があるので、注意が必要です。薬が混ざった少量のゼリーなどをお口に入れて飲めたら、混ざっていないゼリーを飲ませるのもコツです。

抗生物質はチョコレート味やココア味のアイスクリームなどに混ぜると飲みやすくなります。

* シロップ *

シロップはそのままおいしく飲めるお子さんも多いと思いますが、お薬の甘味が強すぎて飲みにくい場合もあるので、少し水で薄めると飲めるようになることもあります。また、少量のジュースなどに混ぜてもいいですね。

★ただし、粉薬もシロップも組み合わせを間違えてしまうとかえって飲みにくくなってしまいうこともあります。お薬によって、よりおいしく感じる飲み合わせがあるので、薬剤師にぜひ相談してください。

岐阜市学校薬剤師会 理事 小池 紫



岐阜市役所 子ども保育課

TEL：214-7825（ダイヤルイン）

FAX：262-1121

Eメール：hoiku@city.gifu.gifu.jp